

日本社会情報学会 (JSIS) ニュース

第41号 2011.3.7

日本社会情報学会 (JSIS) 事務局

〒737-4312 広島県呉市郷原学びの丘1-1-1

広島文化学園大学社会情報学部社会情報学科今田研究室気付

TEL 0823-70-3300 FAX 0823-70-3311

e-mail : s-info@hbg.ac.jp

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

日本社会情報学会 (JSIS) 会費等振替口座 (ゆうちょ振替口座)

- ・口座名 日本社会情報学会
- ・口座番号 00140-2-763005
- ・口座住所 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1
NPO法人iコミュニティ内 日本社会情報学会 (JSIS)
会費・和雑誌受領担当 和泉恵子
- ・e-mail : desk@NPOicom.com

- I JSIS・JASI両学会の統合に向けて
- II 会計プロジェクトチームの中間報告書について
- III 研究発表優秀賞について (2010年度第15回研究大会)
- IV 2011年度日本社会情報学会合同研究大会のご案内
- V 論文の募集
- VI 学会ニュースの発行について
- VII 事務局から (お願い・ご連絡)
- VIII 第60回日本社会情報学会 (JSIS) 理事会議事録

I JSIS・JASI両学会の統合に向けて: 「専門作業部会」の設置が決まる

会長 伊藤 守

前回の会報でお知らせしましたように、両理事会の承認の下で、2010年12月10日に正式に「統合に向けた合同委員会」を設置し、統合に向けた具体的な検討に入りました。この委員会のメンバーとして、伊藤会長、遠藤副会長、安田副会長の3名が参加することになりました。

上記の「合同委員会」第1回会合では、両会長より、①統合に向けて積極的に話し合うこと、②これまでの協力関係を発展させるものであること、③理系と文系の垣根を超えることを目指した学会の理念を継承・発展させること、④両学会の特徴を生かす工夫をすることなど、基本的考え方について意見が表明され、その後意見交換をおこないました。そのうえで、「統合に向けた合同委員会」の下に、専門分野の具体的な課題を検討する「専門作業部会」を設置することが決まりました。

「専門作業部会」は以下の通りで、JSIS側のメンバーは会長指名により下記の委員に依頼し、お引き受けいただきました。

- 1 法務・財務部会・・・伊藤守、今田寛典、藤井史朗、黒葛裕之

- 2 研究活動部会・・・正村俊之、吉田純、大國充彦
- 3 学会誌発行部会・・・遠藤薫、橋元良明、岡田安功、今田寛典
- 4 渉外担当部会・・・阿部圭一、守弘仁志、北村順生
- 5 表彰担当部会・・・西垣通、遠藤薫、伊藤賢一
- 6 移行作業部会・・・黒須俊夫、伊藤守、柴田邦臣
- 7 広報HP部会・・・安田孝美、服部哲、吉田寛

1月に入り、各作業部会は順次具体的な検討に入っています。尚、検討された内容や課題については6月を目途に「中間報告」として取りまとめ、会員の皆様にも広く公開して、ご意見をいただく予定です。

II 会計プロジェクトチームの中間報告書について

会計プロジェクトチームの中間報告書について

2010年12月11日に開催された第60回理事会に会計プロジェクトチームは中間報告書が提出した。その内容の概略は次のとおりである。

1. 会計処理にかかる問題とプロジェクトチームの編成

2010年9月4日に開催された日本社会情報学会2010年度16回総会において、審議事項第2号議案として、2009年度決算(案)および監査報告が審議された。本学会では2009年度会計報告は収支計算書の形式によって行われなければならないが、提示された収支計算書には収入金額がなく支出金額だけであり不十分なものであった。このことに端を発して、過去数年間の収支計算書を精査したところ、いくつかの問題点が発見された。①一致すべきである前期繰越金と次期繰越金に齟齬が見られること、②会費収入に年度ごとの増減が大きいことである。さらに以前の事務局長が現在の事務局に引き継ぐべき現金預金を未だに管理していることも判明した。このように学会会計上の種々の問題点が噴出した。この問題の解決のために、伊藤守会長は会計プロジェクトチームを編成して学会会計の再調査を諮問した。

2. 調査内容とその範囲

本学会会計の調査は、2006年度から2009年度の4ヵ年を対象とすることとした。その理由は、会計報告に疑問があるのは事務局の引継時期に密接に関連していることからである。

本学会の事務局は、2006年4月1日から2008年3月31日まで札幌学院大学（長田博泰総括理事・大國充彦事務局長）、2008年4月1日から2010年3月31日までが静岡大学（岡田安功総括理事・藤井史朗事務局長）である。2010年4月1日以降は広島文化学園大学（栗川隆宏総括理事・今田寛典事務局長）である。この引継時期に着目して、2006年4月1日から2010年3月31日までの4ヵ年を対象とすることとした。それ以前となると、調査の対象となる会計資料（会計帳簿や証憑書類等）の確認が難しいことが予想されるからである。

大國事務局の会計事務処理方法は、概ね、次のようなものである。会員が郵便振替口座に納入した学会費はゆうちょ銀行口座に振り替えて管理された。学会誌発行費等の銀行振込で支払うものについては、ゆうちょ銀行口座からネットバンクである新生銀行口座に資金を移し、新生銀行から振込等の処理を行った。ただし大國事務局の2006年度及び2007年度の会計報告については、提供を受けた収支計算書とその明細資料から、その内容が概ね妥当であると考えられた。そのために収支の詳細な内容までは調査する必要はないと判断し、繰越金と現金預金の残高を中心として調査した。大國事務局の最大の問題点は、金銭出納簿を備え付けていないことである。金銭出納がないために現金の動きが分からない。金銭の動きは、証憑書類と銀行口座から推定するしかない。

藤井事務局の会計事務処理方法は、概ね、同様の方法で会計処理をしていた。すなわち会員が郵便振替口座に納入した学会費は、ゆうちょ銀行口座に振り替えて管理され、そのゆうちょ銀行口座から振込等の処理を行った。藤井事務局の会計処理は疑問点が多かったために、多くの資料の提供を受けた。ゆうちょ銀行の通帳の写し、及びエクセル形式の支払記録を含む一切の会計資料である。藤井事務局の問題点も、大國事務局と同様に、金銭出納簿を備え付けていないことである。金銭出納がないために現金の動きが分からない。金銭の動きは、証憑書類と銀行口座から推定するしかない。

3. 現時点で判明したこと

3.1 2006年度会計報告について

2006年度会計報告については、報告を変更する必要がないものと考えられる。

3.2 2007年度会計報告について

2007年度会計報告については、報告を変更する必要があることが判明した。予備費の支出とその他支出に疑問がある箇所があり、現在それを調査している。その結果に基づいて繰越残高を修正する必要があるために、中間報告書では訂正の必要があることのみを指摘した。

3.3 2008年度以降の会計報告について

2008年度以降の会計報告については、2007年度の繰越金の確定を待つ必要がある。しかし、2008年度会計報告については、大きく報告を変更する必要があることは明らかである。2008年度以降も大國事務局に学会費等が振り込まれた事実があるからである。支出についても同様であり、大幅な修正が必要であることが分かった。また藤井事務局の支出について詳細に調査したところ、若干の誤謬があることも判明した。

4. 最終報告書の予定

会計プロジェクトチームは、2011年3月26日に開催予定の第61回理事会に最終報告書を提出すべく誠意調査活動を継続している。

会計プロジェクトチーム座長 黒葛裕之（関西大学）

Ⅲ 研究発表優秀賞について（2010年度第15回研究大会）

昨年の長崎大会での研究発表優秀賞は以下の四名です。

- ・福西敏宏(群馬大学大学院社会情報学研究科)：学術情報のクロスメディア的社會共有環境構築の可能性
- ・曾我千亜紀(愛知県立芸術大学非常勤講師)：情報検索から情報創造へ --- 知の転換
- ・車愛順(京都大学 人間・環境学研究科)：インターパーソナル・コミュニケーションを通じた潜在的公共圏の形成と維持の研究 - 韓国のソーシャルメディア・カフェ「アゴラ」の事例から -
- ・近藤真由(名古屋大学大学院 情報科学研究科)：Webの進化が地域サイトにもたらすもの - 名古屋市東区地域サイト「ひがしネット」の事例から -

(文責事務局)

Ⅳ 2011年度日本社会情報学会合同研究大会のご案内

2011年度合同研究大会の概要が決まりましたのでお知らせします。

【日程】

- ・合同研究大会: 2011年9月10日(土)・11日(日)
- ・「ブレカンファレンス」：9月9日(金)夕刻(予定)
- ・企業関係者対応の特別講演及び「エクスカーション」(見学):9月12日(月)(予定)。

【テーマ】

- ・大会(シンポジウム)テーマ:「地域社会の情報ネットワークとガバナンス」：9月10日(土)午後(予定)

【場所】

- ・大会開催会場: 静岡大学情報学部(浜松市)情報2号館及び「高柳記念館」。
☆静岡大学情報学部 浜松市中区城北3-5-1

【エントリー等】

- ・大会自由報告のエントリー・原稿締め切り日
エントリーと原稿を同時提出とし、2011年6月15日締め切り。

【連絡先】

静岡大学情報学部 藤井史朗(JSIS)
〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3丁目5-1
静岡大学情報学部情報社会学科
TEL&FAX 053-478-1522 (研究室直通)
e-mail fujii@inf.shizuoka.ac.jp

(文責事務局)

V 論文の募集

～和文雑誌『社会情報学研究』の原稿募集

ただいま『社会情報学研究』第16巻1号の投稿論文を募集しています。投稿希望者は、2011年4月30日までに必要事項を「口座・和雑誌受領担当」事務まで連絡してください。原稿の締切は、2011年5月31日です。いずれも、締切厳守です。詳細については、学会ホームページ<<http://www.soc.nii.ac.jp/jsis/>>をご確認ください。

～「英文雑誌"Journal of Socio-Informatics"」の論文募集

例年、9月末投稿申込み、10月末原稿受付となっています。まだ、具体的な日程を決めていませんが、この時期に必ず募集しますから、会員の方はぜひ論文を英語で書いて世界へ発信する準備をして下さい。

VI 学会ニュースの発行について

これまで、学会ニュースについては、メールによる配信とともに紙媒体の提供も行っていました。昨年実施した「JSISニュース等に関するアンケート」の結果、また、学会の財政事情を踏まえ、今回の発行から、紙媒体の提供は希望者のみとさせていただきます。

紙媒体を希望される方は、学会事務局にその旨連絡をお知らせください。なお、メールが届かない会員の方やメールアドレスが不明の方も少なくありませんので、メールメールアドレスを変えられた方は新しいアドレスを事務局の登録していただきますようお願いいたします。

<JSISニュース・会員名簿に関するアンケート結果>

2010年11月下旬から12月上旬にかけて、JSISニュース・会員名簿に関するアンケート調査をメールによって実施しました。その結果は、次表のとおりです。

ニュースの発行では、「原則メールで配布し、希望者のみ紙媒体を提供」が47.5%と最も多く、次いで「メールだけで配布」が32.7%でした。会員名簿の発行では、「2年1回発行」が33.7%、「3、4年に1回発行」が27.7%と多く、会員名簿に対するニーズの高さを示していました。

自由記述では、「会員名簿の入手が学会入会の目的にもなっている」「個人情報保護に配慮した電子媒体による提供を希望する」などの意見がありました。

問2 ニュースの発行	該当数 (%)
① 全会員に紙媒体を配布	14 (13.9)
② メールで配布、希望者のみ紙媒体	48 (47.5)
③ メールだけで配布	33 (32.7)
④ その他	6 (5.9)
総計	101

問3 会員名簿の発行	該当数 (%)
① 2年に1回	34 (33.7)
② 3、4年に1回	28 (27.7)
③ 原則廃止	10 (9.9)
④ 必要な会員に有料	20 (19.8)
⑤ その他	9 (8.9)
総計	101

Ⅶ 事務局から（お願い・ご連絡）

（１）会費についてのお願い

会費未納の方が多くおられます。会費未納の場合、学会誌への論文投稿や研究発表大会での研究発表の受付がされない場合があります。また、学会誌（社会情報学研究、Journal of Socio-Informatics）の発送がされない場合があります。ぜひとも、会費納入をお願いします。

（２）学生会員の方にお知らせ

３月は、卒業、修了される学生会員の方が多くおられます。学生会員から正会員への変更を３月末までに事務局にお知らせください。また、学会を退会される方は３月末までに事務局に連絡ください。

（３）メールアドレスについて

学会からのお知らせの多くはメールで行っています。メールアドレスをお知らせください。また、メールアドレスを変更される場合は、早急に新しいメールアドレスをお知らせください。

（４）23年度会費納入のお願い

23年度会費の納入を４月末までをお願いします。振込は、郵便局に備え付けの払込取扱票をお願いします。その際、通信欄に23年度会費と明記してください。自動引落をされている方は、口座の金額を確認ください。

（５）退会される方

退会される方は、３月末までに事務局へ連絡ください。その際、22年度までの会費納入をお願いします。

●事務局メールアドレス： s-info@hbg.ac.jp

日本社会情報学会（JSIS）事務局 事務局長 今田寛典
〒737-0182 広島県呉市郷原学びの丘1-1-1
広島文化学園大学社会情報学部 今田研究室気付
TEL 0823-70-3300 FAX 0823-07-3311
Email s-info@hbg.ac.jp

●会費納入は下記の口座に

日本社会情報学会（JSIS）会費等振替口座（ゆうちょ銀行振替口座）
口座名 日本社会情報学会
口座番号 00140-2-763005
口座住所 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1
NPO法人iコミュニティ内 日本社会情報学会（JSIS）
会費・和雑誌受領担当 和泉恵子
e-mail : desk@NPOicom.com

Ⅷ 第60回日本社会情報学会（JSIS）理事会議事録

と き：2010年12月11日（土） 13:00～16:30

と ころ：東京大学情報学環 6階会議室

出席者：伊藤守（会長）、遠藤薫（副会長）、安田孝美（副会長）、伊藤賢一、大國充彦、岡田安功、栗川隆宏、橋元良明、藤井史朗、正村俊之、守弘仁志、今田寛典（事務局長）

【報告事項】

1 『社会情報学研究』の編集進捗状況について

橋元編集委員長から次の報告があった。

- ・第15巻1号は、査読および再査読が終了し、6本の論文が掲載される。1、2月に発行予定である。
- ・第15巻2号は、査読者が決定し、査読が開始された。

2 『社会情報学研究』論文のインターネット上での公開について

橋元編集委員長から次の報告があった。

- ・「社会情報学研究」に掲載の論文をインターネット上に公開することを検討している。1年後の公開を目途に、複

数ある公開プラットフォームのメリット・デメリットを調査するなど検討を進める。

3 英文雑誌編集委員会からの報告について

岡田委員長から次の報告があった。

- ・投稿の呼びかけやPRの効果があり、JSI Vol.4への投稿数は増加し、7本となった。現在、査読者も決まり、査読中である。

4 研究委員会からの報告について

正村委員長から、関東地区研究会を下記のとおり開催する予定である旨、および、各地区の研究会を年1回程度開催したいとの報告があった。

タイトル：「情報化によるさらなる再編成－身体・空間・地理－（仮）」

メインスピーカー：大黒岳彦 明治大教授

現状報告者：

1. 位置情報・・・服部哲 神奈川工科大
2. 保健医療情報・・・柴田邦臣 大妻女子大学
3. 電子書籍・・・検討中

コメンテーター：正村俊之 東北大 教授

開催場所： 東海大学 高輪キャンパス

開催日時： 1月下旬~2月ごろ

5 2010年度決算中間報告（11月30日現在）について

今田事務局長から11月30日現在の予算の執行状況について説明があった。なお、会計プロジェクトに鑑み、資産については預金と現金を別に記載すること、手数料は別の項目に記載することなどが確認された。

6 会員の現況について

今田事務局長から12月10日現在の会員の現況について下記のとおり報告があった。

- ・会員数は447名・団体である。（正会員309名、学生会員130名、名誉会員7名、法人会員1団体）
- ・本年度の会費納入率が現在59%であり、さらに、向上させるため会員の協力をいただきたい。
- ・多年度にわたる未納者も少なくない。

7 長崎大会決算報告について

今田事務局長から2010年合同研究大会会計報告について報告があった。

8 日本学術会議推薦者依頼について

今田事務局長から日本学術会議推薦者依頼について説明があり、各理事から適切な候補者を推薦することとなった。

9 会計プロジェクトの中間報告について

黒葛 会計プロジェクト座長から会計調査の中間報告について下記のとおり報告があった。

- ・2006年度から2009年度までの4カ年を調査対象としたが、2007年度から2009年度については調査途中である。
- ・2006年度は概ね適正であったが、2007年度および2008年度については会計報告を訂正する必要があることが判明した。なお、この誤謬は意図的な不正によるものではなく、事務局が短期間で移動すること、また、必ずしも会計の専門家ではないことに起因している。
- ・3月26日に開催される理事会にて最終報告を行う予定である。

【審議事項】

1 第59回理事会議事録（案）の承認について

第59回理事会議事録案が資料のとおり承認された。

2 第16回2010年度総会議事録（案）の承認について

第16回2010年度総会議事録案が資料のとおり承認された。

3 J-stageの継続について

J-Stageの継続には単年度20万円程度の負担が見込まれるが、継続することが承認された。

4 「統合」に向けた課題

伊藤会長から、会長、両副会長をJSIS側委員とする「統合に向けた合同委員会」を正式に発足させること、また、その下にいくつかの「専門委員会」を設けることが提案され、承認された。なお、「専門委員会」およびその委員の構成については「合同委員会」会長に一任することが確認された。

5 来年度の研究大会について

藤井 大会実行委員長から、来年度の合同研究大会の日程を9月10日（土）、11日（日）としたい旨の提案があり、承認された。また、実行委員会および企画委員会の委員を組織することが確認された。

6 「『社会情報学研究』投稿要領」の改定について

橋本編集委員長から、過去には学会費未納にもかかわらず、論文が掲載されてしまったケースもあったため、学会費に未納分がある場合には、投稿論文を受け付けない旨を投稿要領に追記する提案があり、承認された。

7 会長・副会長選考ルールについて

伊藤法規委員長から、会長・副会長の選出方法について提案があり、次回選挙から次の新選出ルールで実施することが承認された。また、このルールについては、規約第14条を変更せず、運用上の内規とすることが確認された。

（新選出ルール）

- 1) 会長候補1名について、郵送で投票。票は事務局で管理。総会前の理事会で開票を行い、会長候補1名を決める。
- 2) 会長選出後、理事会の場で副会長候補2名を選ぶ。2名の名前を連記して投票し、その場で開票。
- 3) 理事会を欠席する場合は、会長候補1名の他に、副会長候補2名についても郵送で投票を行う。
- 4) 1)、2) で同数になった場合は、学会履歴の長いものを候補とする。それでも決まらない場合はくじ引きで決定する。

8 学会ニュース・会員名簿の発行について

栗川理事から、「学会ニュース・会員名簿に関するアンケート」の結果について報告があり、次の2点について承認された。

- ・次回のニュースの発行から、「メールによる提供（希望者には紙媒体）」に切り替える。
- ・会員名簿は会員ニーズが高いため継続して発行するが、効率的な発行方法について検討を行う。

9 会員の入会・退会者について

今田事務局長から3名の退会について説明があり、承認された。また、連絡が取れない会員については関係する理事が連絡を行うこと、また、4年以上会費未納の会員リストを作成し関係する理事が連絡を行うことが確認された。

10 会費納入依頼書発送時期と学会誌への論文投稿の受付について

今田事務局長から、会費の納入が論文投稿時の条件になったので、会費の納入依頼を3月末に行いたい旨提案があり、承認された。

11 メールによる会費納入催促について

今田事務局長から、会費の納入率を上げるため、メールによって会費納入の督促を行いたい旨提案があり、承認された。

12 次回理事会について

次回理事会は早稲田大学で3月26日（土）13時から開催することが、承認された。